



第3回麻疹対策推進会議
平成21年2月20日(金)

平成20年及び平成21年の 麻疹の発生状況

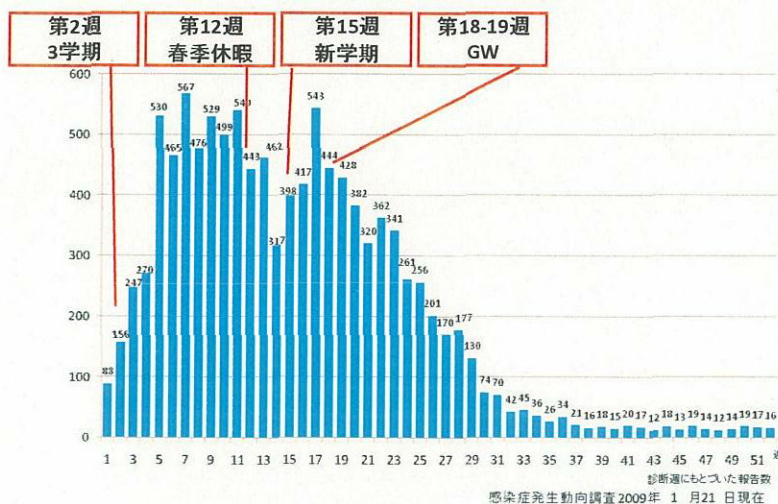
島田智恵

tomoesh@nih.go.jp

国立感染症研究所・麻疹対策技術支援チーム

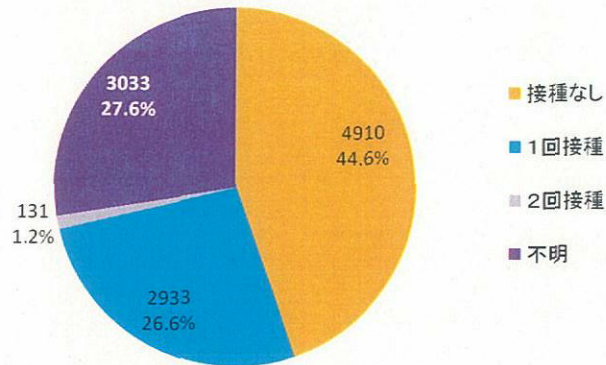


週別麻疹報告数(n=11,007) 2008年第1-52週

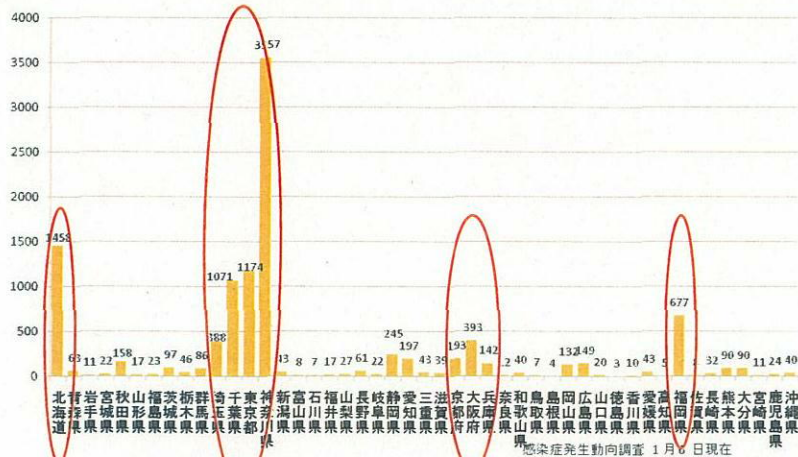




麻しん含有ワクチン接種歴別累積報告数 (n=11,007)

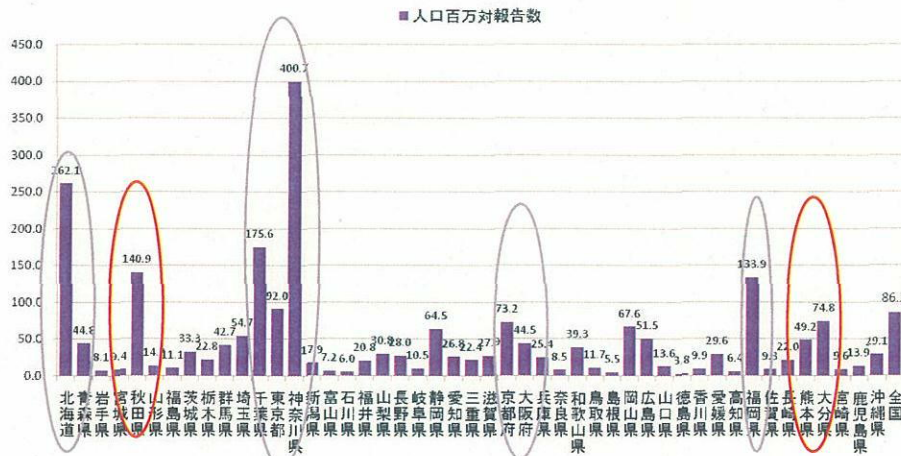


都道府県別麻しん報告数(n=11,007) 2008年第1-52週





都道府県別人口百万対麻しん報告数 2008年第1-52週

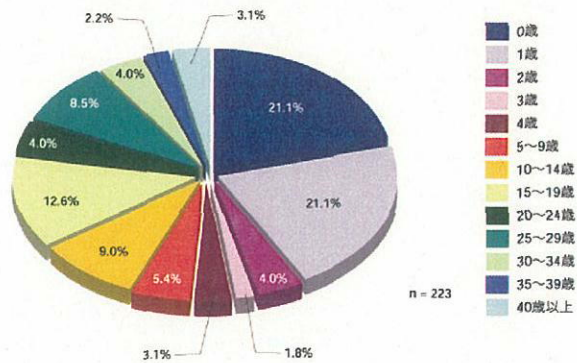


脳炎合併症の報告があった麻しん症例 (n=9) 2008年第1-52週

診断週	感染地域	報告自治体	性別	年齢	病型	接種歴	転帰
1 第4週	北海道	北海道	女	10代	臨床診断例	無	軽快
2 第4週	神奈川県	神奈川県	男	20代	検査診断例	無	軽快
3 第5週	神奈川県	神奈川県	男	30代	臨床診断例	無	軽快
4 第9週	北海道	北海道	女	20代	検査診断例	無	
5 第16週	千葉県	東京都	女	40代	修飾麻しん (検査診断例)	不明	
6 第26週	神奈川県	神奈川県	男	20代	検査診断例	1回 (1歳時、親の記憶)	高次脳機能障害
7 第29週	神奈川県	神奈川県	男	10代	検査診断例	無	
8 第31週	東京都	東京都	男	40代	修飾麻しん (検査診断例)	不明	
9 第44週	千葉県	千葉県	女	30代	修飾麻しん (検査診断例)	不明	

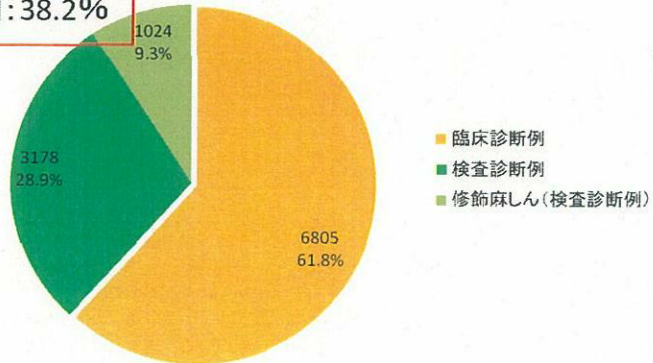


肺炎合併症の報告があった麻しん症例 年齢群別割合 (n=223) 2008年第1-52週



全国病型別麻しん累積報告数 (n=11,007) 2008年第1-52週

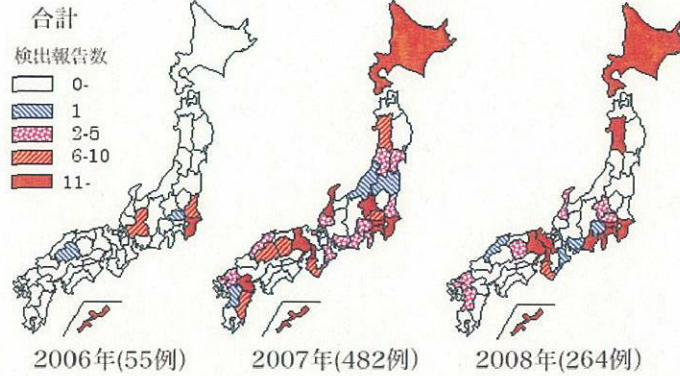
検査診断例: 38.2%





都道府県別麻しんウイルス分離・検出報告数 2006年～2008年

(病原微生物検出情報：2009年1月22日現在報告数)



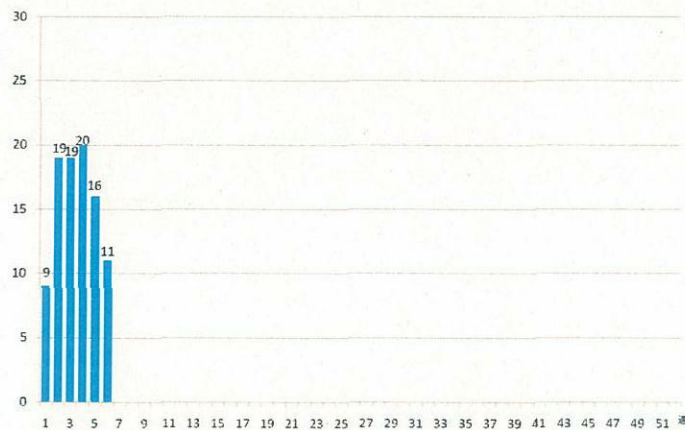
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report



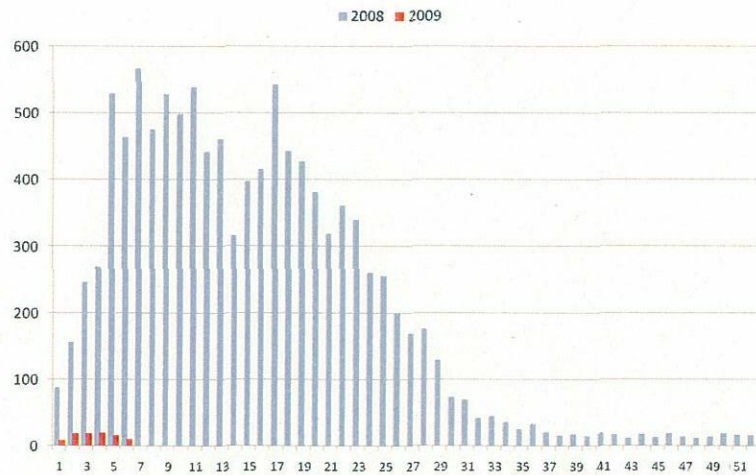
週別麻しん累積報告数(n=94) 2009年第1～6週



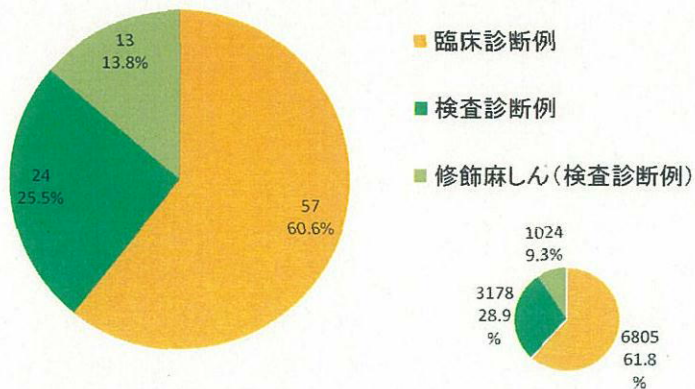
診断週にもとづいた報告
感染症発生動向調査 2月12日現在



週別麻疹報告数の比較 2008、2009年

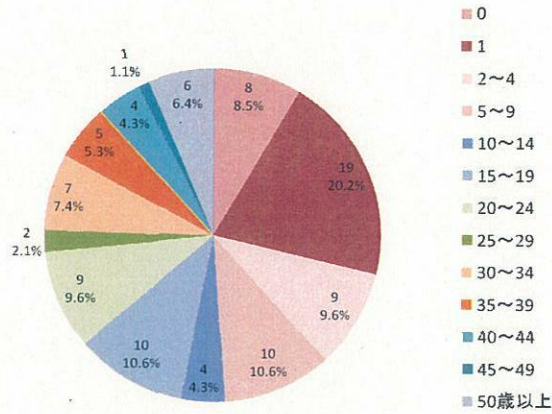


病型別麻疹累積報告数 2009年第1~6週 (n=94)



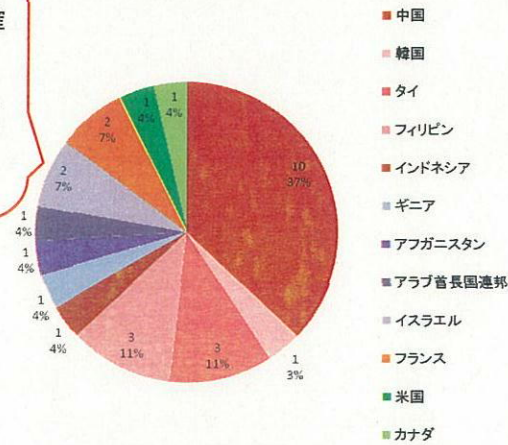


年齢別麻しん累積報告数 2009年第1~6週 (n=94)



参考資料1: “麻しん輸入例(感染地域が国外と報告された症例)” 累積報告数 (n=27) 2008年第1-52週

疫学的・ウイルス学的に確定診断されたものはイスラエルの2例のみ
双子の兄弟のうち、1例からD4型麻しんウイルスが検出された。





参考資料2: 月別麻疹ウイルス分離・検出報告数 (n=801)
2006年～2008年

図1. 月別麻疹ウイルス分離・検出報告数、2006年1月～2008年12月
(病原微生物検出情報: 2009年1月22日現在報告数)

